

平成28年ゴールデンウィークにおける主な観光施設等の利用状況について

平成28年ゴールデンウィークに県内の主な観光施設・イベントを訪れた観光客の状況について、次のとおりまとめました。

調査目的： ゴールデンウィーク期間中の観光客の傾向を調査し、今後の観光振興施策や観光事業者の事業展開の参考資料とする。

調査地点： 県内主要観光施設、市町村イベント等 67地点

集計期間： 平成28年4月29日（金）～ 5月8日（日）の10日間

観光客数： 延べ約145万人（1日当たり14万5千人）

1日当たり：対前年比18,868人増、14.9%増

前年：152万人（12日間、1日当たり12万6千人）

1 概 況

熊本地震の影響による出控えが懸念されたが、好天に恵まれたこともあり、県内の主な観光施設・イベント（67地点）を訪れた1日当たりの観光客数は前年比14.9%増加した。

今年のゴールデンウィークは、平日を2つ挟んで3連休が2回と2連休が続く分散型であったため、近場で楽しむ旅行が人気であったと見られる。

期間全体では、好天に恵まれ気温も暖かかったこともあり、自然に関する公園施設や道の駅、県内各地で開かれた多彩なイベントに多くの観光客が訪れた。

レジャー意欲を駆り立てる上で重要なガソリン価格は、4月25日時点のレギュラーガソリン店頭価格（全国平均）は1ℓ117.1円（前年1ℓ139.9円）と、前年同期比で約16%安い水準であった。

1日当たりの入込状況の圏域別では、全ての圏域において増加しており、最も大きく伸びたのは峡中地域の1日当たり20.2%増であった。

2 各圏域別の状況

別添資料参照

【峡 中】

- ・ 峡中圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比20.2%増となった。
- ・ 最も大きく数字が伸びたのは、「山梨県立美術館」の1日当たり約86%増であり、特別展「ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ展」が好評だったと見られる。
- ・ 強風により一部中止になったイベントがあったものの「風土記の丘・曾根丘陵公園」では1日当たり約21%増となり、「山梨県立愛宕山子供の国」、「山梨県小瀬スポーツ公園」、「赤坂台総合公園」等の屋外施設においても1日当たり約20%増加した。
- ・ 前年に、近接する甲斐善光寺において6年に一度の御開帳のあった「山梨県地場産業センター（かいてらす）」は、1日当たり約55%減少した。

【峡 東】

- ・ 峡東圏域所在の対象施設等に係る観光客数は1日当たり前年比10.8%増となった。
- ・ 登山客の堅調な伸びに支えられ「大菩薩嶺」では約19%増となった。
- ・ 好天に恵まれたため、屋外施設の「山梨県森林公園 金川の森」では1日当たり約25%増と、観光客数を伸ばした。

【峡 南】

- ・ 峡南圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比10.9%増となった。
- ・ 身延山周辺の歴史・文化・自然の施設では、外国人観光客の割合が増加したと回答する施設が複数あった。
- ・ 前年比約43%増と大幅に増加した「甲斐黄金村湯之奥金山博物館」や、「まほらの湯」、「道の駅とみざわ」等の屋内施設が前年比10%以上増加した。

【峡 北】

- ・ 峡北圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比10.8%増となった。
- ・ 好天に恵まれたため、「八ヶ岳自然ふれあいセンター」、「山梨県立まきば公園」、「道の駅南きよさと（長澤鯉のぼり祭り）」等の自然に関する屋外施設では前年比約20%以上の増加となった。

【富士・東部】

- ・ 富士・東部圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比16.2%増となった。花の見頃とゴールデンウィーク期間が重なった地点での増加が見られ、外国人観光客の増加を要因として挙げる施設も複数あった。
- ・ 例祭で多くの観光客が訪れた「北口本宮富士浅間神社」や「道の駅富士吉田」等、多くの施設で観光客が堅調な増加となった。

【問い合わせ先】観光企画課 高橋・中村・齊藤

直通 055-223-1556（内線4102、4111、4112）